まつえ 市議会だより

No. 54

2022
11月定例会

MATSUE CITY COUNCIL NEWS LETTER

11月定例会
一般会計補正予算、条例改正、議員提出案件・陳情の審査結果 P2

11月定例会一般質問
21人の議員が質問 P5～10

委員会行政視察報告
島根原子力発電対策特別委員会ほか3つの常任委員会が視察 P10～11

特別委員会報告
松江市総合計画特別委員会など3つの特別委員会を開催 P12

（シリーズ）

松江の元気な子どもたち㉓

「いらっしゃいませ!!うさぎぐみのケーキやさんへようこそ!」
ーしんじ幼保園ー

うさぎ組で継続して、お店屋さんごっこを楽しみました。この日は、大好きなおうちの方が来てくれました。「いらっしゃいませ～」と言っている声が写真から聞こえてくるようです。 〈取材：海徳委員・山根委員〉

第54号　発行日：令和5年3月1日　発行：松江市議会　編集：議会広報等委員会

11月定例会
令和４年11月30日～12月20日

令和４年度コロナ対応の補正予算、災害復旧対応、電力・ガス・食料品等価格高騰対策などを審議

今議会は、市長提出議案136件を審議し、すべて原案どおり可決（全会一致131件・賛成多数５件）しました。また、議員提出議案４件について審議・議決（可決４件）しました。

一般質問には21人の議員が立ち、新型コロナウイルス対策、令和５年度予算編成、土地利用制度、島根原子力発電所の避難訓練について、市長や執行部の見解を問いました。

令和4年度松江市一般会計補正予算第7号（主なもの）　33億4,051万円増

１、新型コロナウイルス感染症対策、
　　電力・ガス・食料品等価格高騰対策　33億4,051万円

令和4年度松江市一般会計補正予算第8号　1億242万円増

１、職員人件費　9,764万円
２、議会関係経費（議員報酬）　111万円
３、特別会計への繰出金　367万円

令和4年度松江市一般会計補正予算第9号　2億8,787万円増

１、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援　2億8,787万円

審議した議案等		
市長提出案件		136件
内訳	条例案件	9件
	一般案件	105件
	予算案件	22件
議員提出案件		4件
陳情		5件
合計		145件

条例の改正（主なもの）

松江市指定管理者の管理に関する松江市立保育所の設置及び管理に関する条例及び松江市立保育所及び松江市立幼保園における特別保育に関する条例の一部改正について

公立保育所における保育短時間認定の児童が利用できる時間帯を変更し、延長保育料の区分を改めるもの。

松江市児童クラブ条例の一部改正について

松江市が設置する児童クラブに、新設する持田第２児童クラブを加えるもの。

議員提出案件の審査結果

件名		結果
議員提出議案　第７号	松江市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決（全会一致）
議員提出議案　第８号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書について	原案可決（全会一致）
議員提出議案　第９号	太陽光発電施設の設置に関する法整備を求める意見書について	原案可決（全会一致）
議員提出議案　第10号	地方路線バスを維持するための財政措置の拡充を求める意見書について	原案可決（全会一致）

陳情の審査結果

件名		提出者	結果
陳情第39号	乳幼児から18歳までの子供へのmRNA新型コロナワクチンの申し込み制導入に関する陳情	島根の今と未来を考える会 石倉　千奈美	不採択
陳情第40号	子どもと妊娠可能年齢層への新型コロナワクチン接種中止と全年齢層の接種券送付方法の変更について	松本　美代子	不採択
陳情第41号	松江市の市街地周辺地域の具体的なまちづくりの方針策定のための関係制度の整備について	松江市東出雲五反田土地区画整理組合設立準備委員会 委員長　三島　武美	採択
陳情第42号	松江市議会における議員別の表決結果公表のお願い	議会の「見える化」を求める市民の会 共同代表　福嶋　怜美　伊藤　孝志	－
陳情第43号	子どもへのコロナワクチン接種反対の件	石倉　久美子	不採択
陳情第44号	子供へのコロナワクチン接種反対の件	占部　早苗	不採択

※陳情第42号は閉会中に引き続き審査を行うことに決定しました。

常任委員会報告〈主な審査内容（質問に対する市の答えを掲載しています。）〉

総務委員会…議案28件「原案可決」（12/8開催）

小泉八雲記念館の設置及び管理に関する条例及び小泉八雲旧居の設置及び管理に関する条例の一部改正について

- 観覧者のおもてなしの水準が更に向上するよう、指定管理者とともに市も点検してまいりたい。
- 他の施設との共通入場券の割引率を現在よりも高くすると、指定管理者の収入に影響が出ることから、その取扱いについては、指定管理者や観光部局と連携しながら検討してまいりたい。

指定管理者の指定について（鹿島町公設集会所）

- 地元で使用する集会所は、地元で所有、維持管理していただくことが基本であると考えているが、この公設集会所は、合併前に電源立地地域対策交付金を原資に建設され、修繕のための基金が積まれ、残っており、直ちに譲渡できない。市町村合併後年数がたっても、他の地区と同じルールがとれないことがあることを整理していく必要がある。

指定管理者の指定について（城山公園、興雲閣、武家屋敷）

- 利用料金収入が設定した収入基準額を超えた場合、その余剰金の１割は指定管理者の収入となる。また、自主事業で行うイベント等の収入は、指定管理者の収入になるため、経営努力のインセンティブが働くと考えている。

教育民生委員会…議案74件「原案可決」、陳情４件「不採択」（12/9開催）

指定管理者の指定について（29公民館）

- 指定管理者制度と業務委託という２つの方法があるが、公民館の創意工夫を生かしていくためにも指定管理者制度が望ましいという判断がされたものと考えている。今後、時代の変遷とともに、公民館がどういう役割を果たしていくべきかという議論が、市全体で行われるべきであると考えている。

指定管理者の指定について（41児童クラブ）

- 児童クラブ内の事故の責任については、一義的には指定管理者である各地区の運営委員会にあるものと考えるが、重大事故が発生した場合の責任の所在については、相互で協議して決定するという協定になっている。
  しかし、任意の団体である運営委員会が最終的に責任を持つことは現実的には難しいと考えており、そういった課題を検討し、整理するための期間として、今回の指定管理期間は２年とさせていただいている。

経済委員会…議案10件「原案可決」（12/12開催）

旧日銀松江匠工房のリニューアルオープンについて

- 令和５年度にテナントを募集し、令和６年10月には営業を開始する計画である。

交通事業会計支援金について

- 令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、路線バス利用者は２割余り、収益は３割余り減少し、令和３年度から令和４年度上半期の収益の回復は一定程度にとどまっている。令和４年度下半期は、観光需要が伸びるなどして回復すればよいが、Ｖ字に回復するのは難しいような現状である。

建設環境委員会…議案９件「原案可決」、陳情１件「採択」（12/12現地視察、12/13、12/16委員会開催）

松江市一般市営住宅条例の一部改正について（島根県住宅供給公社より「ふらっとKIMACHI」を無償譲渡）

- 現状は大規模な修繕等の必要はないと考えている。修繕については、島根県住宅供給公社の修繕計画と松江市公営住宅等長寿命化計画との整合性を図り進めていく。
- 今後、島根県住宅供給公社から譲り受ける住宅の戸数は、鹿島町地内に16戸、八雲町地内に30戸、宍道町地内に今回譲り受ける「ふらっとKIMACHI」を除いて28戸の合計74戸ある。

指定管理者の指定について（松江市鹿島マリーナ）

- ２団体から公募申請があり、審議会で ①使用促進のための計画が練られているか ②同類施設の運営実績があり、ノウハウを有しているか、など５点について審査した結果、候補者として選定された。

【現地視察】今年度より環境エネルギー部所管となった「玉造温泉地域地熱資源開発事業」に関し、地熱井第３泉源周辺を視察した。

バイナリー発電所予定地視察
玉湯町：旧玉湯小学校校庭内

予算委員会各分科会での質疑（主なもの）

令和４年度松江市一般会計補正予算（第７号）

総務分科会（12/8）

●質疑のあった項目	①新庁舎事業に対するスライド条項適用について ②コンビニで発行する住民票の経費 ③消防操法大会に関する市の考え方　ほか
●執行部の答弁	①業者から請求のあった日を基準日として、該当する全ての当初設計書の工事単価を基準日の単価に入れ替えて、積算をやり直し計算することにより、適切な変更額の算出をおこなう。物価上昇の幅が１%を超えていれば、スライド条項を用いた契約変更ができることになっており、再積算の結果、約4.3%の上昇となったため、スライド条項を適用する。 ②１枚当たり117円の手数料がかかっている。 ③消防団員からは消防活動、消火活動に対し必要なもので、消火活動の技術、知識、チームワークを培うために続けていこうという意見がある一方、忙しい日々の生活の中で、操法の訓練は負担であるという意見がある。消防団と適正な訓練、操法大会のあり方について、検討をすすめている。

教育民生分科会（12/9）

●質疑のあった項目	①学校プール整備計画と子どもの泳力について ②医療的ケア児受け入れの整備事業費について　ほか
●執行部の答弁	①学校プール整備計画を平成28年度に策定しており、躯体（くたい、プール本体等のこと）が傷んでなければ改修して使用するという基本的な方針のもと、今回、朝酌小学校と佐太小学校のプールを改修するものである。 子どもの泳力については、例年、各学校に泳力調査を行っており、令和３年度においては、自校にプールを併設している学校と、他施設のプールを使用している学校と、それぞれ泳力が落ちており、他施設のプールを利用しているから泳力が落ちているという具体的な根拠はない。各学校でプールの授業時数を工夫し、泳力をつけている状況である。 ②令和５年度、１名の医療的ケア児の受け入れを見込んでおり、特別支援学級整備事業費の中に一般備品の費用は含まれているが、それ以外については令和５年度の当初予算で検討している。

経済分科会（12/12）

●質疑のあった項目	①肥料価格高騰対策事業費について ②林地崩壊防止事業費について　ほか
●執行部の答弁	①国・県も同様の事業が行われ、松江市はそちらに上乗せをする形で実施する。年内を目途に県が交付決定される見込みで、県の交付時期に合わせ、市15%分を上乗せして交付する。 ②入札不調の原因として、現場が民家の裏山で作業がしにくいことや、災害復旧の工事が多く技術者の数が足りていないためと考えている。設計については、県の出す最新の標準単価を使用し、仮設等についても現地の状況に合わせて計上しており、問題はないと思っている。今後も契約検査課等とも協力しながら対応したい。

建設環境分科会（12/13）

●質疑のあった項目	①最終処分場の地下水ボーリングの状況について ②西尾地区の地滑り災害の復旧に向けた進捗状況について ③工事の入札不調が多く見られる現状について　ほか
●執行部の答弁	①開設より30年以上経過していることから、新たに地下水採取箇所を設置したいと考え、ボーリングすることとした。現在、地下水調査を毎月実施している。 ②地滑り災害の認定に向け、測量や調査を１年間行ってきたが、現状は変動がなく、地滑り災害の認定は難しいと考えている。社会資本整備総合交付金等の有利な財源を活用し、工程的には来年度から復旧に向けた設計を行いたい。また、通行止めの期間が長くなるため、片側通行できるよう工法等の検討を進めている。 ③昨年度発生した災害の数が多かったこともあり、最近、入札不調が続いている。経費としては、松江市も島根県の基準に基づき、適正な積算の上で発注している。徐々に災害復旧が進んでいるので、今後は順調に落札してもらいたいと考えている。

①令和４年度松江市一般会計補正予算（第８号）　②令和４年度松江市一般会計補正予算（第９号）　ほか議案12件

①今年度の人事院勧告に伴い「松江市職員の給与に関する条例等の一部改正」「松江市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正」「松江市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正」及び、それに伴い補正するもの。討論では、「市民の生活が厳しさを増す中で、職員給与の引き上げには大事なことで賛成するが、市長、議員の引き上げが入っている予算のため反対」「人事院勧告に基づいて報酬等が決まっており、疲弊している地域経済のために一生懸命使っていくという考えで賛成」との意見がありました。

②妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済支援について、次年度以降の財源及び事業の恒久化についての質疑に対し、執行部より「国より、一般財源については普通交付税を想定し、予算編成を行うことが示されているので本市としてもそれに沿った形で対応していきたい」との答弁があり、また双子や三つ子の場合の給付金についての質疑に対し「出産については、子ども１人につき５万円を支給する」との答弁がありました。

11月定例会 一般質問

市政のここが聞きたい　21人の議員が質問

11月定例会では、12月5日、6日、7日の3日間にわたり一般質問を行いました（感染症対策を施していますので、マスクを外して質問しています）。
質問した議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

河内（かわうち）　大輔（だいすけ）
（松政クラブ）

会派代表質問

- 令和５年度予算編成について
- 空き家対策について
- 土地利用制度について
- AIデマンドバスの運行について
- 島根原子力発電所避難訓練について
- 新型コロナウイルス感染症について
- **松江水郷祭の有料観客席について**

ほか２件

質問　水郷祭の有料観覧席が宍道湖畔を占め尽くす計画があるが市長の考えは

水郷祭の一等席である宍道湖岸の市役所エリア、白潟公園エリア、嫁島エリアが有料観覧席で占め尽くす来年度の計画が、松江水郷祭推進会議から出ている。今まで無料だった一等席が有料になるなど、市民に愛されている水郷祭が大きく変わることに違和感を感じる市民は少なくない。予算確保が大きな課題であると思うが様々な方策を考え尽くした上で、有料にたどり着いたのであれば分かるが、有料ありきで話しが進んでいるような印象である。市長の考えを伺う。

回答　有料観覧席を増やすなどの手法で水郷祭の存続と魅力向上に繋げたい

警備費の高騰やコロナ対策経費の増大により、従来通りの運営方法の見直しを検討すべき時期に来ている。有料観覧席を増やすなどの手法により水郷祭の魅力を高め、地域全体にプラスのインパクトを生み出したい。

岩本（いわもと）　雅之（まさゆき）
（志翔の会）

会派代表質問

- 松江市総合計画MATSUE DREAMS 2030における５つの柱について
- **新庁舎の利活用について**
- 水辺の公園について
- 関係人口の創出について
- 地域の生活課題解決に向けて

質問　新庁舎の利活用で立地場所を生かしたまちづくりについて何を検討すべきか

新庁舎の利活用において立地場所を生かしたまちづくりについて、どのようなことを検討しているのか伺う。

回答　他の事業とも連携し、周辺エリア一帯としてのまちづくりを進めていきたい

新庁舎は、宍道湖岸や末次公園、千鳥南公園、松江しんじ湖温泉駅と温泉街に近接した立地にあることから、それぞれの施設と連携することで相乗効果が発揮され、魅力あるまちづくりが実現できるものと考えている。そのため、現在取り組んでいる水辺の利活用のための社会実験や、湖畔公園の整備と利活用の検討、MATSUE観光戦略プランの策定など、他の事業とも連携しながら、周辺エリア一帯としてのまちづくりを進めていきたい。

細木（ほそぎ）　明美（あけみ）
（明政会）

会派代表質問

- **松江市の土地利用制度について**
- 駅前再整備と殿町再開発について
- 宿泊税と観光協会の今後について
- ０歳児見守り訪問「おむつ定期便」について
- 教員を取り巻く環境について
- 水道事業の広域化について
- 原子力防災訓練について　ほか２件

質問　松江市に相応しい土地利用制度とはどういうものか

松江カントリーのゴルフ場跡地に太陽光発電のソーラーパネルが立ち並ぶことになったこの結果を市はどう考えているのか。松江市に相応しい土地利用制度とはどういうものなのか考えを伺う。

回答　「将来のまちのかたち」を実現するために有益な手段となるものである

「市街化調整区域」であり、住宅団地等の開発はできないが、農林業用施設の建設や太陽光発電設備の設置などは可能である。民有地であり行政が土地の使い道をコントロールはできないが、地域にメリットがある形で有効に活用されるのが望ましい。本市に相応しい土地利用制度は松江市総合計画における「将来のまちのかたち」の実現のために有益な手段であり、今年度末にはその考え方を整理すべく準備を進めたいと考えている。

津森（つもり）　良治（りょうじ）
（民主ネットワーク）

会派代表質問

- 地下避難施設・核シェルターの整備
- 新型コロナウイルス感染症に関連して
- 支所と公民館
- **中海圏域の魅力**

質問　「道の駅本庄」の拡充・強化に向けて検討いただきたい

中海圏域の更なる魅力の創出に向けて、「道の駅本庄」の拠点としての施設の拡充と強化、そして周辺の環境整備について検討いただきたいが、所見を伺う。

回答　関係者の皆様と協議しながら、活用方策や環境整備について検討を進める

「道の駅本庄」は、年間約８万人の皆様にご利用いただいており、中海圏域における魅力的な拠点施設となるよう、関係者の皆様と協議しながら、その活用方策や環境整備について検討を進めて行きたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

会派代表質問

田中　明子（たなか　あきこ）
（公明クラブ）

- 令和５年度予算編成について
- 松江市における安全保障について
- 出産・子育て応援交付金について
- **HPVワクチン接種について**
- 糖尿病対策について

質問　ＨＰＶワクチンを自費で接種した方への払い戻しについて伺う

勧奨が中断され、ＨＰＶワクチン接種の機会を逃し自費で接種された場合の払い戻しについて、対象者の把握や周知方法を伺う。またＨＰＶ９価ワクチンの定期接種化に伴う本市の対応はいかがか伺う。

回答　本議会で補正予算が認められ次第、周知を図る

払い戻しの対象となるのは、令和４年４月１日現在で本市に住民登録をし、令和４年度中に18歳から25歳になる方で、令和３年度末までに自己負担により接種を受けた方が対象となる。今議会で補正予算が認められ次第、市のホームページ、市報、ＳＮＳなどに掲載し周知を図り、申請に基づき指定の口座に振り込むこととしている。９価ワクチンの定期接種化については、令和５年４月からの実施に向け準備を進めている。

野津　直嗣（のつ　なおつぐ）
（松政クラブ）

- 原子力発電等立地地域の振興に関する特別措置法について
- 少子化対策と創業起業の連携について
- **総合運動公園のメインスタジアムの客席の改修について**
- ダイアログインザダークの導入について　　ほか２件

質問　総合運動公園のメインスタジアム客席・野球場・庭球場の改修を望むが

今現在、都市構造再編整備集中支援事業があり、有利な国交省の事業が充当されている。くにびき国体以降、老朽化の一途をたどるメインスタジアム客席の整備、テニス場、野球場など将来的な負担を考慮すれば周辺整備も含めた一体的な整備について検討を始めるべきではないか。

回答　中央競技団体の指摘事項に基づいて改修する

整備後40年以上が経過し、老朽化が進んでいる、メインスタンド客席、テニス場、野球場を含めた松江総合運動公園の整備は、「島根かみあり国スポ・障スポ」の開催に向けて令和６年度中央競技団体から示される指摘事項に基づき、また利用者のニーズも踏まえて検討してまいりたい。

村松　りえ（むらまつ）
（志翔の会）

- 北朝鮮による日本人拉致問題について
- 新型コロナワクチン接種について
- **飼い主のいない猫への対応について**

質問　猫に対する苦情を減らすための飼い方、習性についての啓発活動を

猫に対する苦情が多い原因の一つに、そもそも猫の飼い方や習性などの知識の不足がある。猫は屋内で過ごす方がストレス無く過ごせるほか、屋外では病気や事故のリスクもある。不妊去勢手術をしない猫への無責任な餌やりは、１頭から３年後には２千頭になるとの試算もある。周辺にふん尿をしたり、他地域からの野良猫の流入やカラスなどの他の動物の増加にもつながる。松江市として猫に対する知識の普及のためにどのような啓発活動をしているのか伺う。

回答　引き続き、市民の皆様に啓発活動をしていく

市報やホームページでの啓発、松江保健所窓口でのチラシの配布、動物愛護週間にパネル展示を行っている。これからも市民の皆様への周知と啓発に努めていく。

米田　ときこ（よねだ）
（明政会）

- こども家庭センター設置方針等について
- **公共施設適正化計画の進捗状況と今後の方針について**

質問　市民との情報共有を図り、最終判断をすると計画書にあるが考えを伺う

公共施設適正化計画書によると市民との情報共有を図りながら最終的に市の方向性を判断するとあるが考えを伺う。

回答　地元と地域の特性や施設の実情に即して協議の上決定することとしている

公共施設適正化計画を着実に推進するため、ホームページに検討を進めている施設名や進捗状況を掲載するとともに毎年市報にも登載しているほか、適正化の取り組みとして、対象施設毎に廃止や統合などの方向性を示している。決定までのプロセスを地域の皆様に丁寧に説明し、ご理解の下で進めていくことが大切だと考えており、期限を切っているものではない。適正化の目標や原則に基づき、地域の拠点として必要な機能の集約化を図り、利便性の向上や地域活性化につながるサービスの提供を行うこととしている。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

太田　哲（おおた　さとし）
（公明クラブ）

会派代表質問

- 観光地の高付加価値化事業について
- てんかんについて
- **国宝松江城の整備について**
- 新型コロナウイルス感染症第８波について
- エネルギー価格高騰対策について

質問　「国宝松江城天守防火対策事業」の周知方法と今後の計画を伺う

松江城周辺の樹木を伐採する「国宝松江城天守防火対策事業」が始まる。周辺の地域から伐採に賛成や反対の意見があったが、伐採の目的を地域住民にどのように周知されたのか伺う。また、今後の伐採計画を伺う。

回答　説明会やホームページに資料を掲載して周知し、今後も必要に応じ伐採を行う

現地説明会を実施し、計24名の参加があったほか、テレビ局３社、新聞社３社の取材があり、説明会の様子が報道された。また、説明資料や関連資料を本市ホームページに掲載している。今後も、倒木の危険性があり、天守や石垣だけでなく人命に危険が及ぶ可能性があることから、必要に応じて樹木伐採を行う。さらに高木の伐採や枝払いを行い、まちの随所から松江城の景観を楽しんでいただける魅力ある松江城の整備に取り組んでいく。

森本　秀歳（もりもと　ひでとし）
（民主ネットワーク）

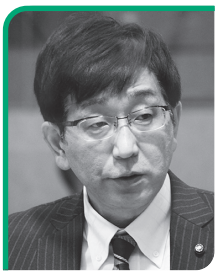
- **選挙投票所**
- 市内まち歩き観光

質問　高校、大学構内への移動投票所が開設できないか

若年層、特に10代の選挙の投票率を上げる手立てとして、高校や大学構内に移動投票所を開設してはどうか。

回答　課題はあるが、先進自治体を参考に検討していきたい

若い人たちの投票しやすい環境を整備する一つの方法として有効であると考えるが、設置にあたっては期日前投票所との二重投票を防ぐためのシステムの構築が必要となる。セキュリティの確保された専用ネットワークの設置が必要で、クリアすべき課題は大きく、総務省は無線について消極的な考えである。しかし、全国的にはいくつかの自治体で無線を使って行っているところもある。今後も他の自治体の先進的な取組を参考にし、課題を整理し、適切かつ効果的な手法について検討していく。



原田　守（はらだ　まもる）
（松政クラブ）

- デジタル窓口実証実験について
- 保育所ＡＩ入所選考システムについて
- 子育て支援について
- 災害時の情報システムについて
- **ＬＩＮＥでの情報発信について**
- 水郷祭対応について

質問　ＬＩＮＥでの情報発信について伺う

ＬＩＮＥは、災害時の情報伝達ツールとして非常に有効な手段と考える。8月の「まちづくりを考える日」においてもＬＩＮＥ活用の有効例が発表されたが、見解を伺う。また、本庁、関係各所で利用があれば伺いたい。

回答　ＬＩＮＥは災害時において、情報連絡手段として有効であると考える

ＬＩＮＥは災害時に、地域ごとの情報連絡ネットワーク手段として有効であると考える。防災訓練や出前講座で活用事例の紹介を行い、地域のネットワークづくりを後押ししている。映像の配信や既読確認といった機能を生かし、地区災害対策本部との通信手段としての試験運用を検討している。庁内では各部局の課や係単位で、また公民館、小学校の職員、校長会等で情報共有や災害時の緊急連絡用ツールとして利用されていると認識している。

山根　宏（やまね　ひろし）
（民主ネットワーク）

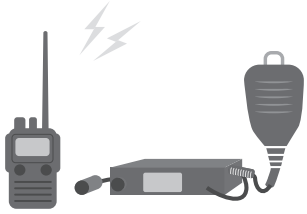
- **災害時（水害）の通信機能確保**
- 市役所天文台
- 水道代免除（物価高騰対策）
- レンタサイクル

質問　災害時においてアマチュア無線は有効であり、市で活用を考えていないか

平成30年７月豪雨では災害で通信手段を失った際、アマチュア無線により、情報収集や救助活動に繋がった事例があった。市はアマチュア無線の活用を考えているか伺う。

回答　大規模な災害時において、有効な手段になりうるものと認識

マチュア無線は固定電話や携帯電話等が途絶するような大規模な災害において、有効な手段になり得るものと認識している。一方で無線免許が必要となることから、まずは実施主体となる団体の皆様の考えを確認していく。



※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

小澤　一竜（おざわ　いちりゅう）
（松政クラブ）

- **観光地としてのホスピタリティについて**
- 水上空間の今後の活用について
- ふるさと納税について
- 総合運動公園の遊具（松江城わんぱく忍者トリデ）までの動線について

質問　空港連絡バス内の観光案内の充実化を図ってはいかがか

コロナ禍以前、年間18万人の利用者がある空港連絡バス。片道30分から45分の間に、松江の入口のおもてなしとして観光PR動画やガイドブック、観光ウェブサイトの誘導、和菓子の提供など、観光案内の充実化に取り組むべきだと思うが、いかがか。

回答　バス運行会社と調整を図り、ともに検討し、誘客を促進してまいりたい

松江に向かう観光客の皆様へのおもてなしとして、また市内での滞在時間を延長するきっかけとして効果的と考える。また、観光客の皆様が帰路に着くバスの車中においても、訪れていないスポットの情報を得ることで、再来訪のきっかけになるものと考える。

森脇　勇人（もりわき　はやと）
（松政クラブ）

- コミュニティバスとスクールバスについて（美保関町）
- 市の広告事業について
- **港・交流50ご縁フェスティバルパネルディスカッションについて**
- ホテル宍道湖跡地・県立プール跡地の利用計画について

質問　率直な感想を伺う

先般、隠岐航路と七類港の就航、境水道大橋開通50周年事業が実行委員会により行われた。松江市、境港市、隠岐4町村の首長が参加され、こういった形で意見交換・ディスカッションするのは今回が初めてと伺う。次の日には松江・雲南・隠岐4町村と民間企業11社が行う「観光から島根を考える持続可能な観光経営と地域づくりシンポジウム」が行われたが市長の感想を伺う。

回答　更なる連携を図りたい

今後、隠岐、境港、松江が一丸となって地域課題の解決に取り組むための出発点になるもので、大変有意義であったと考えている。観光庁に採択された第2のふるさとづくりプロジェクトを土台に地域の特色や資源を把握し広域観光プランを企画するなど相乗効果のある施策に取り組みたい。近隣地域の行政、民間企業の皆様と更なる連携を図り広域的な観光振興を図ってまいりたい。

中村　ひかり（なかむら）
（志翔の会）

- **学校給食における黙食について**
- 幼稚園における弁当について

質問　黙食についてメリット、デメリットを伺う

子どもたちに対する厳しい制限の代表とも言えるのが、学校給食における黙食である。黙食について、メリット、デメリットを伺う。

回答　一長一短があるものと考えている

メリットとしては、会話を控えることで感染リスクが下がること、集中して食べることで給食を残さず食べる児童生徒が増えたことなどが上げられる。デメリットとしては、静か過ぎて緊張し、食が進まない児童生徒がいること、給食の最中に友達とコミュニケーションを取ることができないことなどが上げられる。

錦織　伸行（にしこおり　のぶゆき）
（会派に属しない議員）

- **島根スサノオマジックの専用アリーナについて**
- 松江市役所新庁舎の工事完了について
- 高齢者施設や児童福祉施設の支援について

質問　島根スサノオマジックの専用アリーナについて

2025年度発足のB1リーグの新基準において、様々な加入条件が設けられている。中でも、収容人員5千人以上、スイートルーム等の設備を備えるという「専用アリーナ」は、最も高いハードルのように思う。それについて具体的な動きや考えがあるのか市長の所感を伺う。

回答　B1リーグ本拠地のある他都市などの事例を調査、研究中である

島根スサノオマジックは、松江市になくてはならない財産であり、市民の誇りである。専用アリーナについては、現時点で具体的な計画は持ち合わせていないが、様々な事例を研究している。また、市民が一丸となって応援している状況にあり、今後の更なるステップアップには市民や地元企業の協力が不可欠と考えており、行政としても旗を振り、一緒に応援の仕方を考えていきたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

たちばな　ふみ
（共産党市議団）

- 新型コロナ禍で市民を守る施策
- 女性への暴力撤廃へ　相談体制拡充を
- **鳥獣被害にあう農家へ支援を**
- 島根原発について

質問　ヌートリア対策と被害農家に支援を

ヌートリアは特定外来生物。戦前、松江市で軍服の毛皮用にヌートリアを養殖していた。それが現在松江市全域に繁殖し、米や農作物が脅かされる事態となっている。ヌートリアに関しては、狩猟免許がなくとも被害農家自らが捕獲従事者となることができる。他市では捕獲に関して国の基準額である1,000円の報奨金が出るが松江市は出ない。報奨金を出し捕獲従事者を広める必要がある。ヌートリアによる被害は国策による被害。国に支援を求めるべき。

回答　奨励金の効果など調査研究する

ヌートリアの捕獲奨励金制度は設けていないが、近隣自治体の事例があり奨励金の効果などの調査研究を進めたい。被害状況の調査に努めているが金額に現れない潜在的な被害も多いものと考える。今後も引き続き島根県市長会等を通じて財政措置の支援など要望したい。

舟木（ふなき）　健治（けんじ）
（共産党市議団）

- 介護保険制度について
- **生活保護における扶養照会について**
- 原子力防災訓練について

質問　生活保護における扶養照会の配慮ある対応について伺う

生活保護の申請をためらう大きな理由の一つが扶養照会と言われる。昨年度の扶養照会件数、人数、また扶養照会の方法、回答の件数と割合、照会の結果、金銭的援助につながった件数と割合はどうか。厚生労働省は扶養照会の慎重な運用を求めた事務連絡を出している。配慮ある対応が必要と考えるが見解を伺う。

回答　扶養義務者との現在の関係を把握し国の基準に則り適切に実施している

令和3年度に申請された271件のうち175件に対して扶養照会を行い、照会した扶養義務者数は408名であった。面会可能な方には直接聞き取り、難しい方は文書で照会した。照会の結果、88％にあたる299人から回答があった。金銭的援助申し出は1件であり、金銭的援助に結び付いた件数の割合は0.6％となる。扶養義務者との現在の関係性を把握し、国の基準に則り適切に実施している。

海德（かいとく）　邦彦（くにひこ）
（公明クラブ）

- エシカル消費と地球温暖化について
- **エスコの相談・支援体制強化について**
- 空き地対策について

質問　専門職を常勤にて配置するなど、相談支援体制の強化を図るべきではないかか

言語聴覚士等の医療専門職や心理専門職を常勤にて配置するなど、子どもとその家族が安心して過ごせるように相談支援体制の強化を図るべきと考えるが、見解を伺う

回答　エスコの在り方を考える会を立ち上げ体制の強化に向けた検討を重ねている

配置している臨床心理士や言語聴覚士の専門職が担う役割は、子どものことを理解する上で必要となる客観的な検査や保護者との相談時における専門性をいかした助言などであり、直接子どもに対応する役割は担っていない。近年、保護者の支援ニーズは多様化しており、専門職の配置の在り方を含め、相談支援体制のより一層の充実を図っていく必要がある。現在、外部委員を交えた特別支援教育の在り方、エスコの在り方を考える会を立ち上げ、相談支援体制の強化に向けた検討を重ねている。

三島（みしま）　明（あきら）
（明政会）

- **松江カントリー跡地への太陽光発電（メガソーラー）の設置について**
- 松江駅南側のにぎわい創出について
- 小体連陸上大会の中止について

質問　私たちの安心・安全が脅かされる危険はないか市の見解を伺う

今回の事業主は香港に拠点を置くPAGリニューワブルズという企業である。外資系企業は、私たち市民には身近ではなく、どういう企業か、一市民として不安を禁じ得ない。松江には美保基地もあり、何よりも島根原子力発電所は極めて近く、安全保障上の不安を拭うことができない。電力は国民の生活、安全保障にも欠かせない重要な基幹インフラである。様々な問題が起こっているメガソーラーだが、私たちの安心・安全が脅かされる危険はないか、市の見解を伺う。

回答　各事業者の責任において、安全対策などが十分に考慮されるべき

各事業者の責任において地域住民への説明、景観への配慮、自然環境の保全、安全対策などが十分に考慮され、周辺地域との調和を図りつつ、適切に計画されるべきだと考えており、今後の事業展開を注視していく。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

長谷川（はせがわ）　修二（しゅうじ）
（公明クラブ）

- AIデマンドバスの運行とスクールバス利用について
- 自転車の安全な乗り方について
- SAFへの取組について
- **子育て支援と女性に優しいまちづくりについて**
- 健康推進と保健師の役割について

ほか３件

質問　市内の公共施設へ生理用品を試行的に設置してはいかがか

女性に優しいまちづくりという観点から、女性が生理によって急に困ってしまう状況を改善する方法として、市内の公共施設へ生理用品を試行的に設置してはと思うが見解を伺う。

回答　他自治体の運用状況や民間との連携を確認・検証し、早く結論を出したい

本市として、公共施設への生理用品設置については、既に調査を進めている。今後本市が懸念する大量の持ち帰り等の課題の解決に向けて、他自治体の運用状況や民間団体と連携した取組などを確認・検証して、出来るだけ早く結論を出していきたいと思っている。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

２月定例会日程

月	日	曜日	会議名
2	21	火	本会議（会期の決定、提案説明）
	27	月	本会議（一般質問）
	28	火	本会議（一般質問）
3	1	水	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
	3	金	予算委員会（質疑、分科会分担・委託）
	6	月	総務委員会・予算委員会総務分科会
	7	火	総務委員会・予算委員会総務分科会
	8	水	教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	9	木	教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	10	金	経済委員会・予算委員会経済分科会
	13	月	経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会現地視察
	14	火	建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	15	水	建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	20	月	予算委員会（分科会長報告・質疑、討論、採決）
	24	金	本会議（委員長報告・質疑、討論、採決）

（議会事務局 TEL 55－5432）

委員会視察報告

島根原子力発電対策特別委員会

～原子燃料サイクル施設・原子力発電所の安全対策の状況について～

令和4年11月14日～11月16日
委員長　森脇　勇人

【日本原燃㈱原子燃料サイクル施設（青森県六ヶ所村）】
【東北電力㈱女川原子力発電所（宮城県女川町）】

島根原子力発電対策特別委員会では11月14日～11月16日にかけて日本原燃㈱原子燃料サイクル施設（青森県六ヶ所村）と東北電力㈱女川原子力発電所（宮城県女川町）へ特別委員会委員と担当部局で現地視察研修を行いました。

１日目の日本原燃㈱原子燃料サイクル施設では、施設概要や、地域共生の取組等の説明を受けた後、車中からウラン濃縮工場や最終規模が60万㎥となる１号から３号の低レベル廃棄物埋設地を見学、説明を受けました。その後、警備区域内に入構し、使用済核燃料受入貯蔵施設では使用済燃料貯蔵プールの状況を確認しながら説明を受けました。その他には、竜巻対策のための冷却設備に防護ネットを設置するなどの安全対策工事が行われている現場を見学しました。

２日目の東北電力㈱女川原子力発電所では、高さ15mの防潮堤の設置などの安全対策工事の状況を視察するとともに、震災の際の発電所の対応状況について直接話を伺うことができました。

使用済み核燃料については島根原子力発電所再稼働後の課題であり、国においても安全確保を大前提に原子燃料サイクル施設の早期稼働が求められているところです。また、各施設とも入構の際には厳しい管理対策を行っており、更なる安全対策工事を行いながら、安心・安全な稼働に向けて準備を行っていることが確認できました。

〈女川原子力ＰＲセンターで説明を受ける委員〉

委員会行政視察報告

総務委員会

～文化財を活かしたまちづくりや防災体制拡充などについて視察～

令和4年10月12日～10月14日
委員長　河内　大輔

【熊本県熊本市】
『熊本城の復興と文化財を活かしたまちづくりについて』
【熊本県八代市】
『豪雨災害の状況と防災体制の拡充について』
『税収確保（ふるさと納税額の増加）について』
『民間企業等経験者の技術職採用年齢上限を59歳としていることについて』
【宮崎県宮崎市】
『公民連携（みやざきCITY PORT）について』
『総合スポーツ戦略都市、国民スポーツ大会の準備について』

熊本市は、「昼も夜も歩いて楽しめる魅力的で、災害にも備えた都市空間の創出」をテーマにモデル都市に選定され、熊本城近くの桜町花畑地区の再開発事業では、熊本城と空間的な一体性が感じられて、動線の連続性を確保した広場の整備などを実施されていました。また、歴史ある地域資源を生かしたまちづくりを軸に、保存だけではなく利活用に軸をおいた新旧融合型のまちづくりを進め、歴史的建物のリノベーションやSNSを活用した地域の魅力発信などに取り組んでおられました。

〈熊本城復興事業について視察（写真は石垣補修現場）〉

八代市では、令和２年７月の豪雨でインターネット通信に障害が発生、避難指示の発信が数時間できなかったことなどを伺いました。また、防災アプリによる情報発信や個別避難通知アプリの実証実験など、デジタル技術を活用した「逃げ遅れゼロに向けたスマート防災プロジェクト」の取組内容を伺いました。

このほか、宮崎市では、公民連携総合窓口の設置による提案しやすい環境を構築し、設置から５か月で36件の提案を受け、６件が事業化され成果があがっています。

いずれの事例も、松江市での取組に参考となるものであり、今後の議会活動の中でしっかりと生かしてまいります。

教育民生委員会

～子育て支援・家庭教育支援・脳科学に基づく教育を視察～

令和4年10月12日～14日
委員長　細木　明美

【大阪府大東市】『家庭教育支援事業について』
【兵庫県明石市】『中学校給食無償化事業について』
『０歳児見守り訪問「おむつ定期便」について』
【兵庫県小野市】『夢と希望の教育について』

大東市では、大東市教育大綱において家庭教育支援を重点項目として位置づけ、家庭教育支援チームによる家庭訪問や、「いくカフェ」の開催、家庭教育応援企業等登録制度など様々な取組がなされていました。

明石市では、「こどもを核としたまちづくり」をめざした「独自の５つの無料化」の取り組みの中から、中学校給食無償化事業と０歳児見守り訪問「おむつ定期便」について視察しました。子育て支援に力を入れたこうした取組が、明石市の人口増加や出生率の上昇につながっているものと感じました。

〈小野市が独自に作成した「おの検定」のテキスト【小野市】〉

小野市では、脳科学に基づく教育が行われており、その中でも特に「おの検定」は、漢字・計算・英語の基礎学力の定着や家庭学習の習慣化、基礎体力の向上を図る小中学校統一の独自検定で、大変興味深いものでした。

今回は、子育て支援と子どもの教育について、特色ある独自の取組を視察しました。どの自治体も、はっきりとした目的とそれに対する意気込みを感じ、今後の松江市の取組の参考になるものでした。

建設環境委員会

～土地利用制度、駅周辺整備、地熱資源活用について視察～

令和4年10月24日～26日
委員長　岩本　雅之

【福岡県北九州市】
『市街化区域と市街化調整区域の区域区分の見直しについて』
【長崎県諫早市】『諫早駅周辺整備事業について』
【長崎県雲仙市】『小浜温泉バイナリー発電所について』

北九州市では、土地利用制度の見直しについて視察しました。平成30年７月の豪雨災害をきっかけに、安全で持続可能なまちを目指し、コンパクトなまちづくりの一環として、災害リスクの高い地域や人口密度の低下が見込まれる地域などについて、市街化区域と市街化調整区域の区域区分の見直しを進められていました。土地所有者などの関係者と積極的に意見交換をされており、松江市の土地利用制度の見直しにおいても、様々な住民の声を聞き、丁寧に進めることが大切だと改めて実感しました。

〈小浜温泉バイナリー発電所について視察【雲仙市】〉

諫早市では、駅周辺整備事業について視察しました。令和４年９月の西九州新幹線開業に合わせて駅周辺を整備されており、新幹線整備に対する地元関係者の強い姿勢や、駅周辺整備によるバスやタクシー利用などの二次交通の改善が強く印象に残りました。

雲仙市では、地熱資源活用について視察しました。温泉水を活用したバイナリー発電の仕組みを学び、現地では発電所を見学しました。発電以外でも温泉水を二次利用した６次産業化や商品開発を展開されており、玉造温泉地域の地熱資源開発を進めるうえで参考となりました。

松江市総合計画特別委員会（11/22開催）

「松江市総合計画－MATSUE DREAMS 2030－」の実施状況について

執行部より、108項目のＫＰＩの検証、松江市の人口動態の分析、審議会の委員よりいただいた意見などについて説明がありました。

委員からは、「キーワードは“人”であり、それぞれの当事者の方が自分事としてどれだけできるか。機運づくりや材料づくりを念頭に、事業施策を進めていただきたい」、「総合計画でどんなまちが出来上がっていくのかを、今後はもう少し具体的な成果を市民の皆さんにお知らせできる環境をつくっていただきたい」などの意見がありました。

新庁舎建設特別委員会　（12/15開催）

工事の進捗状況や今後の予定について

執行部より、「3月中旬の1期棟完成を目指して、ゴールデンウィークで新庁舎機能移転を完了し、その後、西棟の改修工事を行い、6月頃から現庁舎の解体工事に着手する予定としている」、「建築資材価格の高騰等についての対応として、事業費総額が155億7,500万円程度となる見込みとなっている」などの説明を受けました。

委員からは、工事費の上昇に関する市民からの問い合わせについてなどの質疑がありました。

新庁舎利活用の取り組みについて

執行部より、「新庁舎利活用の担い手づくりワークショップの開催」、「一定期間、新庁舎を実験的に利活用して効果の検証を行うトライアルサウンディング*の実施」について説明を受けました。

委員からは、「トライアルサウンディングをされる場合の費用負担はどうなるのか」、「出前講座で生徒から出されたアイデアを、ワークショップにどう取り込むのか」などの質疑がありました。

＊トライアルサウンディング…利用を希望する民間事業者を募集し、一定期間、実際に利用してもらう制度

「市議会だより」への皆さんのご意見をお寄せください

〒690-8540　松江市末次町86
議会広報等委員会（松江市議会事務局）
電　　話（0852）55-5053
ファックス（0852）55-5533
議会事務局メールアドレス
giji@city.matsue.lg.jp
ホームページアドレス
http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/

まちづくり対策特別委員会　（12/14開催）

松江市の土地利用制度の考え方について

執行部より「松江市の状況整理、団体ヒアリング結果報告、市民アンケート結果、土地利用規制ごとの傾向分析」についての説明がありました。

委員からは「市民アンケートから若年層のニーズが読めていない現行の制度設計は、市民にとってマイナスと考えるが？」との質疑があり、執行部から「大型店のニーズがあることは確かだと思っている。現行制度では「中心市街地の活性化を目指す」考え方のもと郊外への立地を制限している。今回の結果を踏まえて検討し、設計にどう生かすか考えていく」との答弁がありました。

このほか委員から「集落地の中山間地域が取り残されて行く印象を受ける」などの意見ありました。

議長の公務（主なもの）

1/ 4：新年賀会
1/ 7：消防出初式
1/ 8：令和5年　松江市20歳の集い
1/12～15：2023　春節前建国花市（台湾）

〈春節前建国花市に出席し、挨拶する立脇議長〉

編集後記

今回は最終ページに議場のカラー写真を掲載しましたが、皆さん何かお気づきでしょうか？実は、11月30日と12月5日の2日間、議員と議場内の市長はじめ執行部の全員がパープル・オレンジのダブルリボン付きの薄紫色のマスクを着用しました。これらの色は「女性に対する暴力根絶運動」と「児童虐待防止運動」のシンボルであり、松江市男女共同参画計画にもある「あらゆる暴力の根絶」を目指し、全員でその誓いを新たにしました。

議会広報等委員　錦織　伸行